

# 記録的な豪雨による水害が発生

台風18号などがもたらした記録的な豪雨の影響で、市内各所で浸水などの被害が発生しました。当市においては、人的被害はなかったものの、床下浸水が34件、床上浸水が36件、合わせて70件の住宅などへの浸水被害が確認されました（9月14日現在）。

## 避難勧告、避難指示発令も

市では9月10日、災害対策本部を設置し、市内の被害状況などの情報収集にあたりました。同日の午前10時55分、鬼怒川に近い小絹地区のふれあい道路西側の117人（44世帯）に避難勧告を発令し、避難所として小絹コミュニティセンターを開設しました。その後、常総市で鬼怒川の堤防が決壊したとの情報を受け、常総市からの避難者を受け入れるため、同日午後5時

30分、総合運動公園、きらくやまふれあいの丘すこやか福祉館を避難所として開設しました。また、常総市に隣接する細代、寺畑、杉下、西ノ台低地部地域の809人（294世帯）に、浸水の恐れがあるとして同日午後8時5分、避難勧告を発令し、小絹小学校、小絹中学校を避難所として開設しました。

9月11日午前10時には、細代、寺畑、杉下、西ノ台低地部地域に発令していた避難勧告を避難指示に引き上げました。同日午後3時、安全を確認したため、小絹地区のふれあい道路西側の避難勧告を解除しました。9月12日の午前11時、安全を確認したため、細代、寺畑、杉下、西ノ台低地部地域に出して

いた避難指示を解除し、市内居住の避難者が帰宅しました。それにとまない、小絹地区の3つの避難所を閉鎖し、総合運動公園ときらくやまふれあいの丘すこやか福祉館の2カ所に集約しました。

常総市からの避難者を受け入れ 各避難所には10日の午後から避難者が身を寄せはじめ、常総市からの避難者受け入れを開始してからは一時、600人を超える方が避難しました。9月14日現在も、総合運動公園およびきらくやまふれあいの丘すこやか福祉館には、常総市からの400人を超える避難者が避難所での生活を続けています。

## 被災した皆さまへ

このたび被災した皆さまにお

## 市民の皆さまへ

現在、総合運動公園ときらくやまふれあいの丘すこやか福祉館を避難所として開設し、常総市からの避難者受け入れと支援を行っています。当面の間、当該施設の利用ができないことになり、ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

見舞い申し上げますとともに、一日でも早くもとの生活に戻れるようお願いいたします。市としましては、今後、災害が発生した際にも、迅速な対応に努めてまいります。また、常総市からの避難者への支援としましては、避難所などの対応に24時間体制であることとし、職員一丸となつて支援を行ってまいります。

氾濫危険水位を超えて増水した鬼怒川・玉台橋の様子（9月10日午後1時頃）



伊奈庁舎に設置された災害対策本部



続々と届けられる支援物資



届けられた支援物資を仕分けするボランティア



炊き出しの準備をするボランティア



炊き出しの支援を受ける避難者